

巻頭言

■ベストをつくせ!



徳島大学薬学部長

佐野茂樹

Shigeki Sano

ジミー・カーター元米国大統領の著書『なぜベストをつくさないのか』を読んだのは、確か高校生頃だったと思います。詳細はほとんど覚えていませんが、書名だけは今も心に刻まれています。

アメリカ南部ジョージア州出身のジミー・カーターが原子力潜水艦乗組員を志願した時、ハイマン・リコーバー提督（原子力潜水艦の父と呼ばれた人物）の面接を受け、海兵学校卒業時の成績を尋ねられます。カーターは「59番です」と誇らしげに答えました。当時、海兵学校卒業時の成績が二桁なのは、極めて優秀であることの証しだったのです。カーターは提督から褒められると、期待したのかもしれ

れません。けれども、リコーバー提督は「君はベストを尽くしたのか？」とさらに問いかけます。常にベストを尽くさなくても、これくらいの成績は取れるという思いだったのでしょうか、カーターは「いいえ、いつもベストを尽くしたわけではありません」と答えました。それに対してリコーバー提督は静かに『Why Not the Best?』という問いを投げかけます。カーターは何も答えることができなかつたと述懐しています。それ以降、この言葉を常に自らに問いかけながら人生を歩むようになったそうです。民主党の大統領候補として現職のフォード大統領を破り、第39代アメリカ合衆国大統領に就任したのは、本書が出版された翌年、1977年のことです。

大統領時代には冷戦のさなかにあつて人権外交を進めたため、弱腰と揶揄されることも多かったカーター元大統領ですが、長年対立していたエジプトとイスラエルの間でエジプト・イスラエル平和条約へとつながる合意（キャンプデービッド合意）を締結させ、大統領職を退いた後には、米国大統領経験者として初めて北朝鮮を訪問し南北首脳会談開催の仲介役を務めるな

ど、積極的な外交活動を展開しました。2002年には「数十年間にわたり国際紛争の平和的解決に尽力し、民主主義と人権を拡大させ、経済・社会開発にも貢献した」功績により、ノーベル平和賞が授与されました。「人は二つの愛を持たねばならない。一つは神への愛、もう一つは隣人への愛である。」これは、ジョージア州プレインズのマラナタ・バプテスト教会に籍を置くカーター元大統領が、常々語っている言葉です。

2017年4月に薬学部長を拝命してから早くも2年が経過し、新元号「令和」への改元と時を同じくして2期目の任期が始まりました。新しい時代の幕開けとともに薬学部の諸課題を担う重責に、身の引き締まる思いで本稿をしたためながら、40年ほど前に読んだ本に思いを巡らせた次第です。『Why Not the Best?』という言葉を深く噛み締めながら、「令和」という新しい時代も薬学部の学生・教職員の皆さんと共に着実な歩みを続けたいと心より願っています。

